

救急車の適正利用について



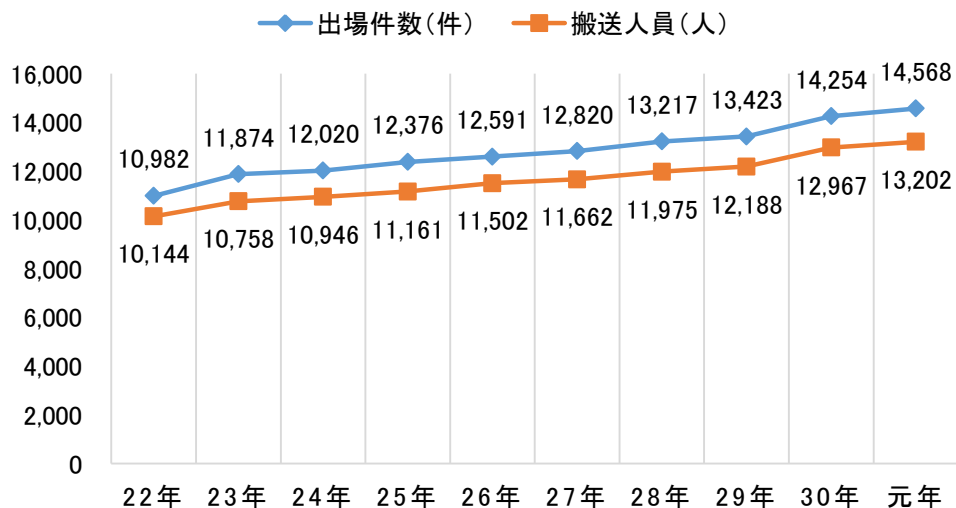
救急車は限りある医療資源です。

全国的に救急件数は増加しており、当消防組合管内でも年々救急件数が増加しています。そのため、本当に救急車が必要な人に救急車がすぐに出場できないことがあります。

通常、119番の救急要請を受けると、現場から一番近い救急車が出場しますが、その近くにあるはずの救急車が出場している場合は、遠方にある別の救急車が出場することになり現場への到着に時間を要してしまいます。

このように、救急車の出場要請が増えることにより119番を受けてから救急車が現場に到着する時間が遅れ、救える命が救えなくなる場合があります。

過去10年間の出場件数及び搬送人員の推移



救える命を救うために

近年、軽い症状でも救急車を利用する人が増え社会問題になっています。このような状況が続きますと、事故による大ケガの人や、心筋梗塞や脳卒中などで緊急に病院などへ搬送する必要がある人への救急車の到着を遅らせることになります。

119番通報する前に、救急車が本当に必要か、自家用車やタクシーなど一般の交通機関を利用できないか、もう一度考えてください。

ただし、命にかかわる病気やケガで緊急に病院へ行かなければならない場合は、迷わず119番通報してください。

救急車を本当に必要とする人のために、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

次のような症状がある場合は迷わずに救急車を呼びましょう

突然のこんな症状の時にはすく119番!!

高齢者

- 顔
 - 顔半分が動かない
 - 顔が歪む
 - 笑った時や物の見方がおかしい
 - 舌がまわらなくなる
 - 鼻と口の距離が異なる
 - 顔が二重に見える
- 手足
 - 突然のしびれ
 - 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる
- 意識の障害
 - 意識がない(気まがな)又は初めは意識がもうろうとしている
 - けいれんが止まらない
 - けが・物けど
 - 大量の出血を伴うけが
 - 広範囲のやけど

※その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合
高齢者は自覚症状が出にくい場合もありますので注意しましょう。

※迷ったら「かかりつけ医」に相談しましょう!

重大な病気やけがの可能性ががあります!

おとな

- 顔
 - 顔半分が動かない
 - 顔が歪む
 - 笑った時や物の見方がおかしい
 - 舌がまわらなくなる
 - 鼻と口の距離が異なる
 - 顔が二重に見える
 - 顔が赤らむ
- 手足
 - 突然のしびれ
 - 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる
- 意識の障害
 - 意識がない(気まがな)又は初めは意識がもうろうとしている
 - けいれんが止まらない
 - けが・やけど
 - 大量の出血を伴うけが
 - 広範囲のやけど

※その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

こんなときにはすく119番!!

こども(15歳以下)

- 顔
 - 顔半分が動かない
 - 顔が歪む
 - 笑った時や物の見方がおかしい
 - 舌がまわらなくなる
 - 鼻と口の距離が異なる
 - 顔が二重に見える
- 手足
 - 突然のしびれ
 - 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる
- 意識の障害
 - 意識がない(気まがな)又は初めは意識がもうろうとしている
 - けいれんが止まらない
 - けが・物けど
 - 大量の出血を伴うけが
 - 広範囲のやけど

※その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

救急車の誤った利用例

- 今日は入院日だから。
- 自家用車が無いから。
- 早く診察してもらえるから。
- タクシーだとお金がかかるから。
- 自分で病院を探すのが面倒だから。

救急車(119番通報)を呼ぶか迷った場合には

「家族の様子がなんとなくおかしいけど、救急車呼んだ方が良いのかな...」

「具合が悪いけど病院に行った方がいいのかな...」

こんなとき、あなたはどうしますか?

急なケガや病気をしたとき、救急車を呼んだ方がいいか、今すぐに病院に行った方がいいかなど、判断に迷うことがあると思います。

市民からの救急医療相談を、看護師が医師の支援体制のもと、24時間・365日対応します。



救急安心センターおおさか
#7119 または 06-6582-7119



急な病気
やけが！

短縮ダイヤル#7119 または 06-6582-7119

固定電話、携帯電話からも#7119により、ご利用できます。

ダイヤル回線やIP電話の方は、06-6582-7119からご利用いただけます。

おかけ間違いのないようにお気をつけください。

(注) 相談料は無料ですが、通話料はご利用者様の負担になります。

紹介動画

■ 緊急時は迷わず119番へ!!

救急安心センターおおさか
#7119
または **06-6582-7119**



※写真はイメージです

24時間 365日対応

こどもの救急電話相談

夜間の子どもの急病時、病院に行った方がいいか判断に迷ったときご利用ください。

電話 #8000 または 06-6765-3650 におかけください。

<20時～翌朝8時・年中無休>

画像をクリックすると、別ウィンドウで「小児救急児童相談#8000について」(大阪府ホームページ)が開きます。



子ども医療電話相談事業(#8000事業)
#8000 または 06-6765-3650

